

3月定例会
質疑

英知を結集して 魅力ある町づくりを要望

東日本大震災と原発災害にともなう町の対応や、復旧・復興、さらには帰還に向けた取り組みについて、議員からさまざまな意見や要望が出されました。その中の一部をご紹介します。



役場敷地内に設置されているモニタリングポスト

誤解を招かない情報提供を

渡辺久長議員 テレビ等で福島県内の放射線量が随時公表されていますが、当町については、国のモデル事業により除染を実施した場所の線量が公表されています。

山田町長 公表される前なのか、除染後のデータを明記するよう県に要望しています。

誰から支援を受けたのか

畑中太子議員 全国から寄せられた多くの支援が、どのような団体や個人から寄せられているものなのか、広く町民に知らせるべきではないですか。

青木総務課長 「広報ひろの」等を活用してお知らせをしていますが、支援者によっては、公開しないでもほしいという申し出もあり、全てを公開することは難しいと考えています。

議員発議

議員の月額報酬を20%削減

昨年の6月定例会で、議員の月額報酬を10%削減することに全会一致で可決され、期間は平成23年3月31日までとなっていました。未曾有の大災害から1年が経過し、今なお多くの町民が不自由な避難生活を過ごしている

なか、議員自ら身を削り、少しでも町の復興・復興に役立てようと、議員の月額報酬を20%削減する議案が提出され、全会一致で可決されました。なお、期間については、平成27年11月30日までです。



提出理由を説明する坂本議員

提出者 坂本紀一
賛成者 小磯利雄
賛成者 門馬 巧

23年度一般会計

最終補正で総額1億2344万円を減額

今回の補正は、主に予算確定等による最終調整と、災害等廃棄物処理事業における本年度分の事業量の確定等による減額でした。これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ1億2344万円を減額し、総額で66億5524万円となりました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	▲1億2344万円	66億5524万円
国民健康保険特別	8206万円	8億621万円
土地開発事業特別	▲1376万円	906万円
公共下水道事業特別	▲1億8853万円	12億311万円
農業集落排水事業特別	▲330万円	2737万円
介護保険特別	▲3032万円	4億6108万円
後期高齢者医療特別	▲2132万円	1740万円

※金額は、全て千円未満を切り捨てて表示しています

町の賠償請求に関する考えは

遠藤智議員 昨年発生した未曾有の大震災と原発事故の影響で、町は予算編成にも非常に大変な時期を迎えています。他の町では、国や東電に対し賠償を求め、取り組みをしています。町は賠償に関してどう考えているのか。

青木総務課長 賠償金額については、まだ確定していませんので、請求金額が算定できない状況にあります。